

しよう害のある人の  
ためにできる事

小 五

助けたい気持ちがあるのにどうして  
いいのかわからない。

放置自転車にぶつかる目の不自由な  
人。手を貸したいけどできない。「助  
けたい、助けたい。」という気持ちで  
いっぱいだった。けれども、足がふる  
えて前に出ない。なぜか足がガタガタ  
する。前にも、こんな事があった。  
バスに乗っていたら、つえをついた  
人が乗ってきた。座る席がない。席を  
ゆずろうと思ったが声が出ない。やつ  
ぱり勇気が出せない。知らない人ばか

りだから思い切って言おうと

思ったが、やっぱり勇気が出せ  
ない。すると、わたしのとなり

に座っていた女の人が立った。そして、  
つえをついた人の前に行き、優しく

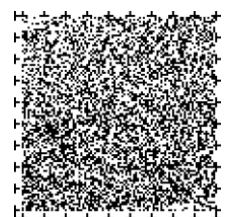
「どうぞ。」

と言った。その人も、

「ありがとう。」

と言った。わたしには、女の人とその  
人のやりとりが、とてもかっこよく見  
えた。

わたしもあんなふうにできたらと  
思った。そうしたらきつと、しよう害  
のある人も安心してバスに乗ることが  
できるだろう。不便なことも大変なこ  
ともたくさんあるだろうが、優しい一  
言で、しよう害のある人たちの心を温



かくできたらいいなあと思う。

ある日、またバスに乗った。「今度こそは、今度こそは。」そう思った。目の不自由な人が乗ってきた。目が不自由なので少し大変だと思った。あきらめるわけにはいかない。だって優しい一言で、相手が笑顔になれると思うから。席はいくつか空いていた。だけど、目が不自由なため、どこの席が空いているかわからなくて立っている。わたしは早歩きで、その方の前へ行っただ。わたしは、「席、空いてますよ。」と優しく言った。すると、その方が「連れて行ってください。」と言ったので、優しく手を取り、わたしの席のところまで連れていった。す

ると、笑顔で

「ありがとう。」  
と言ってくれた。わたしは、うれしくて仕方なかった。  
優しい一言で世界が笑顔になれるといいなと思った。そのためには、優しい声かけをしないといけない。だから、少し勇気がいる。  
最初はできなかつたけれども、できるととても気持ちいい。これからも優しい一言で、しよう害のある人の役に立てたらいいなと思った。

